

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 34-001

PDCA	事務事業名	病院経営事業	部課等名	半田病院事務局 管理課 経理担当	担当	石川	
					内線等	22-9881	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： 3. 半田病院 単位施策： (2) 健全な経営の推進 個別施策： ②経営の効率化					
	根拠法令等	地方公営企業法、半田市病院事業の設置等に関する条例等					
	対象・目的	公立病院として地域住民に対し、安全で安心かつ質の高い医療を提供し、病院経営を継続的に黒字にする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	地方公営企業法に基づき、住民の福祉、健康保持に必要な医療を提供するため、病院改革プランに基づく取り組みを始め、経営改善に努めることで病院事業を継続的に行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①医業収益	11,771,872	11,980,757	12,947,019	千円	
		②医業外収益	579,276	564,864	563,023	千円	
		③医業費用	11,569,107	11,922,716	12,475,213	千円	
		事業費	5,478,439	5,710,684	6,027,025	千円	
		人件費	6,090,668	6,212,032	6,448,188	千円	
		総事業費	11,569,107	11,922,716	12,475,213	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①材料費対医業収益比率	23.7	24.8	25.3	%	
	成 果	②入院患者一人1日当たり診療収入	59,313	60,211	61,652	円	
		③外来患者一人1日当たり診療収入	14,014	15,168	16,471	円	
		成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①経常収支比率	実績値 102.9	101.6	104.3	%	
			目標値 103.1	102.9	103.1		
		②医業収支比率	実績値 101.8	100.5	103.8	%	
	目標値 102.3	101.6	102.5				
③累積欠損金	実績値 779	905	665	百万円			
	目標値 823	730	689				
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない			
	事業の評価・課題	A 医師不足の地域の中においても診療に必要な医師数を確保するとともに、地域の医療機関等との連携強化に努めたことで入院患者数が大幅に増加した。診療報酬改定において加算要件が厳格化された状況下においても急性期一般入院料1(旧7対1)看護体制を維持し、質の高い急性期医療の提供に努めた結果、大幅な経営改善を達成することができた。人件費の上昇や高額薬品・材料費の使用増により費用は引き続き増加しているが、価格交渉をはじめ採用品目や契約内容の見直しなどによる経費節減に取り組み成果を上げることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 安定した医師の確保に努め、地域の医療機関等との連携及び機能分化を一層進めることで、急性期医療を中心とした患者の確保と安定した収益を確保する。消費税増税の影響は大きい。新たな施設基準の取得等による収益の増収とあわせて、材料費や委託費などの抑制による費用節減を強化することで、新病院建設に向けて健全で安定した経営を継続する。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①経常収支比率	102.0	%		
			②医業収支比率	102.0	%		
	③累積欠損金	503	百万円				